

# いばらき再発見 (3)

茨木のまちには 皆さんに紹介したい場所が数多くあります。そこで「まなびどり」編集ボランティアが その中のいくつかを足を運び取材した情報をお届けします。

(一部電話取材もあります)

今回は 市のほぼ中心部と東方面を紹介します。歴史の香りがただよう中で 地球の未来が見えてくるまちちょっと足を運んでみませんか？  
次回は市のほぼ北方面を紹介する予定です。



## ① 茨木神社

市民の氏神といわれるほど多くの人々が訪れます。「黒井の清水」は本殿裏にあり、「名水にして寒暑増減なし。茨木郷中多くの用水とす」と摂津名所図会(寛政10年1798年頃出版)に記されています。豊臣秀吉が茶の湯として好んだといわれ、また明治44年には、当時の皇太子(後の大正天皇)が梅林寺で宿泊された際に御用水とされました。毎年10月に「黒井の清水大茶会」が神社境内で行われます。

本殿裏には梅園もあり、紅梅 白梅などおよそ50本が植樹されています。特に1月末から咲き始めるろう梅は、葉に先立って外側の花卉が黄色で、内側は暗紫を有し、ろう細工のような美しい光沢を放ちます。また茨木神社の東門は茨木城の搦手門を移築したといわれています。(元町)



## ⑩ 梅林寺

茨木城主だった中川清秀とその弟淵之助のお墓があります。

明治44年大正天皇が皇太子だった時に宿泊され使用された部屋は「使わずの間」として残されています。またお寺には珍しい「シャチホコ」が目を引きまします。(片桐町)



## ⑨ 総持寺

西国22番札所として知られ、多くの参拝客が訪れます。楼門をくぐると、境内には本堂 鐘楼 弁財天堂 薬師堂 水かけ地藏 稲荷社 荒神社 大師堂 開山堂などがあります。毎年4月18日には包丁式が行われます。(総持寺一丁目)



## ⑧ 西河原公園

平成2年度「大阪緑の百選」に選ばれたこの公園は、安威川に沿って南北に長く、テニスコート グラウンド 遊具などがあり、幼稚園児や小学生も遠足に訪れます。鯉や小魚が泳ぐ美しい小川では、6月に「ホテルの鑑賞会」を開催しています。バラ園は公園の中ほどに位置し、年2回色とりどりの花が美しさを競って咲いています。また公園に隣接して二島地区公民館があり、その庭には冬に咲く桜が植わっており、寒い中でけなげに咲いています。(西河原一丁目)



## ① 大念寺

浄土宗知恩院の末寺で、本尊の阿弥陀如来像は平安時代の作といわれています。本尊の両脇には、地藏菩薩像と観音菩薩像が安置されています。(安威三丁目)



## ④ 耳原古墳

帝人(株)大阪研究センター内にある古墳は平地に高く盛られた封土を持つ古墳時代後期の円墳です。封土の中央に立派な横穴式石室があり、形式の違った2個の石棺(家形組合式石棺 家形別抜き式石棺)が安置されています。石棺の大きさなどから当然奥の棺がこの古墳の主体であり、入り口に近い方が従になるだろうと考えられていますが、2人の関係は不明です。(耳原二丁目)



## ③ 耳原公園

耳原大池と幣久良山の豊かな景観と自然を生かした公園です。幣久良山周辺は日本庭園をイメージして整備され、頂には自然の木々が風にそよぎ、まるで山奥深くにきたかのような静けさです。耳原大池にはこんもりとした中の島があり、野鳥の楽園になっていて、池の周りに設置されているデッキからバードウォッチングを楽しむことができます。大池をぐるっと1周できる散策路には、滝や梅林、芝生広場、健康歩道(トッキーパー)などが設けられていて、市民の憩いの場となっています。

自然の空間に、どこか遠くにきたような郷愁を感じる公園です。(耳原二丁目)



## ⑤ 十日市浄水場

安全で安定した給水をめざし、総合管理を行っている浄水場を訪れてまず目に入るのが、「水の精」と称するモニュメントとジャンピング噴水です。木々の緑とみごとに調和し、訪れる人に安らぎを与えてくれます。施設管理センターにある展示室(アクアスペース)は、水道水が作られるまでの工程などを、模型と映像で紹介してくれます。

水のありがたさと大切さが学習できる所です。見学するには、事前に申し込みが必要です。

(十日市町)  
<問い合わせ先> 十日市浄水場 (43)6167



## ⑦ 磯良神社(疣水神社)

磯良神社は、「疣水さん」の名で親しまれています。社頭に湧き出る「玉の井」の水は、諸病平癒に霊験あらたかな御神水として知られており、市外からも多くの人々が訪れています。境内の中で目を引くのは、社殿前のさい銭箱にはめられたガラス箱の中の立派なほら貝です。これは神社の社紋に由来しているとのことです。そして右後方の稲荷神社に向かうと、ほっそりとした桜の木があります。これは桜としては大阪府唯一の天然記念物指定だった「井保桜(疣桜)」の二世樹だそうで、郷土の名桜復活が待たれます。(二島丘 丁目)



## ⑥ 太田茶臼山古墳(継体天皇陵)

西国街道を西から歩いていくと、雲見坂と呼ばれる緩やかな坂を登ったところに、自然林に囲まれた大きな前方後円墳があります。その一角だけ時の流れが止まったような静けさと心地よさが感じられます。(太田二丁目)



担当 高橋・竹本・藤原・若山・鈴木  
画 鈴木